

10.1.8 人と自然との触れ合いの活動の場

(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場

1) 調査結果の概要

① 人と自然との触れ合いの活動の場の状況

a. 文献その他の資料調査

「自然的状況 3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況 (2) 人と自然との触れ合いの活動の場の状況」の表 3.1-59 及び図 3.1-40 に示すとおりである。

② 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況

a. 文献その他の資料調査

(a) 調査地域

対象事業実施区域及びその周辺、並びに工事関係車両の主要な走行ルートの周辺とした。

(b) 調査方法

調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況等について、自治体のホームページや既存資料等により調査した。

(c) 調査結果

調査地域における人と自然との触れ合いの活動の場のうち、位置及びアクセスルートを勘案して、図 10.1.8-1 に示す「触れ合い 01：ヒスイテラス、朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場、宮崎・境海岸（ヒスイ海岸）」、「触れ合い 02：上の山園地」、「触れ合い 03：城山公園」、「触れ合い 04：七重滝」、「触れ合い 05：三峯グリーンランド」、「触れ合い 06：富山湾岸サイクリングコース」、「触れ合い 07：田園サイクリングコース」、「触れ合い 08：烏帽子山林道展望台」の 8 地点を主要な人と自然との触れ合いの活動の場として抽出した。調査結果は、表 10.1.8-3～表 10.1.8-10 に示すとおりである。

b. 現地調査

(a) 調査地点

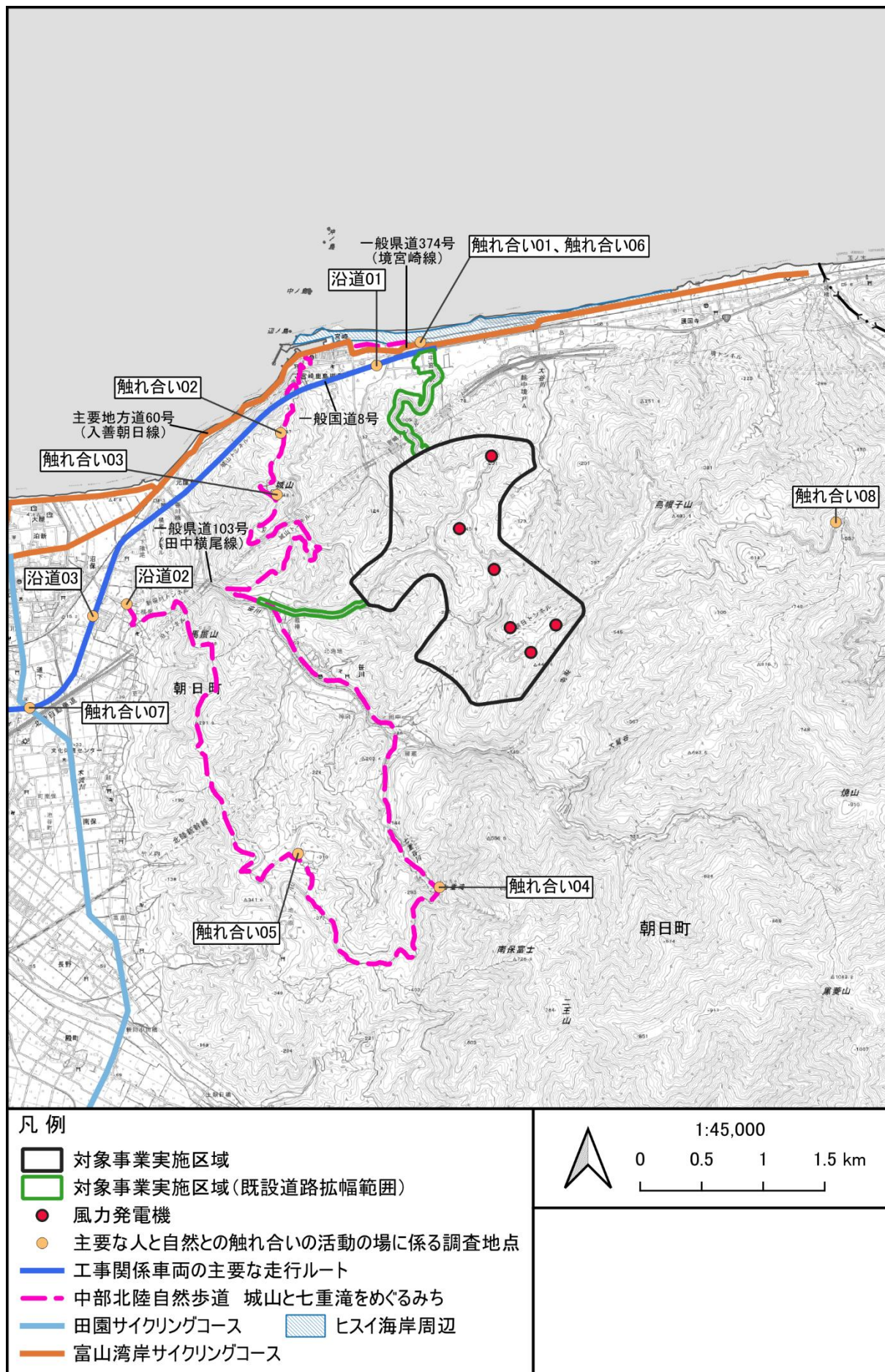
「②主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況」において把握した図 10.1.8-1 に示す 8 地点とした。

(b) 調査期間

調査期間は表 10.1.8-1 に示すとおりである。

表 10.1.8-1 調査期間

調査地点	名称	調査時期
触れ合い 01	ヒスイテラス、朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場、宮崎・境海岸（ヒスイ海岸）	令和 7 年 7 月 27 日(日)
触れ合い 02	上の山園地	令和 7 年 4 月 27 日(日)
触れ合い 03	城山公園	
触れ合い 04	七重滝	
触れ合い 05	三峯グリーンランド	令和 7 年 7 月 27 日(日)
触れ合い 06	富山湾岸サイクリングコース	令和 7 年 4 月 27 日(日)
触れ合い 07	田園サイクリングコース	
触れ合い 08	烏帽子山林道展望台	令和 7 年 6 月 7 日(土)



(c) 調査方法

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況について、現地踏査及び利用者を対象としたアンケート調査を行い、利用状況やアクセス状況等を把握した。なお、アンケート調査の内容は表 10.1.8-2 に示すとおりである。

表 10.1.8-2 アンケート調査の内容

問	アンケートの内容
①	性別
②	年齢
③	お住まい
④	年間季節別利用頻度
⑤	来訪手段
⑥	アクセスルート
⑦	来訪目的（複数回答可）
⑧	これまでのルートと交通手段、これからのルートと交通手段

注：問⑧は、対象事業実施区域北側の宮崎地区及び西側の笹川地区の既設道路拡幅範囲の利用状況を調査する目的で設定した。

(d) 調査結果

主要な人と自然との触れ合いの活動の場における利用状況及び利用環境の調査結果は、表 10.1.8-3～表 10.1.8-10 に示すとおりである。

表 10.1.8-3(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況

(触れ合い01：ヒスイテラス、朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場、宮崎・境海岸（ヒスイ海岸）)

調査項目	詳細な確認事項	調査結果
事業との関連	地点位置及びアクセスルート	・対象事業実施区域の北側に位置しており、最寄りの風力発電機からヒスイテラスは約 1.1km、朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場は約 1.0km、宮崎・境海岸（ヒスイ海岸）は約 1.1km の離隔である。 ・本地点へのアクセスルートと工事関係車両の走行ルートが、一部重複する可能性がある。
利用環境の状況	施設等の概要	・ヒスイテラスでは、海遊び、ヒスイ探し、釣り、サイクリング、登山と、朝日町での体験交流のビジターセンターとして活用されている。また、令和 7 年 4 月に施設内でカフェがオープンした。 ・朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場では、海水浴やバーベキューを楽しめるほか、サイクリングロードや多目的広場などの施設がある。 ・宮崎・境海岸（ヒスイ海岸）は、朝日町の最東に位置する幅 100m・東西約 4 km に渡って広がる砂利浜の海岸で、「日本の渚百選」、「快水浴場百選」に選ばれているほか、海からヒスイが打ち上がる世界的にも珍しい環境である。
	利用時期	【ヒスイテラス】 ・通年 【朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場】 ・4 月～11 月 【宮崎・境海岸（ヒスイ海岸）】 ・通年
	駐車場の有無 駐車可能台数	【ヒスイテラス】 ・36 台 【朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場】 ・75 台 【宮崎・境海岸（ヒスイ海岸）】 ・約 100 台

表 10.1.8-3(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況

(触れ合い 01 : ヒスイテラス、朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場、宮崎・境海岸 (ヒスイ海岸))

調査項目	詳細な確認事項	調査結果
利用環境の状況	催事状況	・ヒスイテラスでは、開館を記念した周年記念イベントが 10 月頃開催されている。 ・朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場では、ホームページやパンフレットから本地点を会場として開催されるイベントについての情報は得られなかった。 ・宮崎・境海岸 (ヒスイ海岸) では、夏休み期間中に小学生を対象としたヒスイを探す「ヒスイ海岸トレジャーハンティング」が開催されている。
利用の状況	利用者特性	・ヒスイテラスでは、現地調査時に展示物のヒスイを眺める利用者やカフェで食事をする利用者が見られた。 ・朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場では、現地調査時にキャンプやバーベキューを楽しむ利用者が見られた。 ・宮崎・境海岸 (ヒスイ海岸) では、現地調査時にヒスイ拾いや海水浴を楽しむ利用者が見られた。
	調査時間・利用者数 (駐車台数)	調査日：令和 7 年 7 月 27 日 【ヒスイテラス】 ①8:50～9:35 6 人 (21 台) ②13:50～14:10 9 人 (32 台) ③15:20～15:40 7 人 (29 台) 【朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場】 ①9:10～9:40 20 人 (18 台) ②13:00～13:30 10 人 (8 台) ③15:00～15:30 12 人 (9 台) 【宮崎・境海岸 (ヒスイ海岸) 】 ①9:10～9:35 73 人 (11 台) ②13:10～13:40 139 人 (34 台) ③15:00～15:30 106 人 (21 台)
	アンケート調査について	【性別】 男性：60 人 女性：57 人 【年齢】 0～10 歳代：44 人 20 歳代：8 人 30 歳代：26 人 40 歳代：23 人 50 歳代：4 人 60 歳代：10 人 70 歳代以上：2 人 【お住まい】 朝日町：2 人 入善町：11 人 黒部市：3 人 魚津市：1 人 立山町：1 人 富山市：52 人 射水市：3 人 富山県外：44 人 【年間季節別利用頻度】 アンケート調査の結果、夏季の利用者が多かった。

表 10.1.8-3(3) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況

(触れ合い 01：ヒスイテラス、朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場、宮崎・境海岸（ヒスイ海岸）)

調査項目	詳細な確認事項	調査結果
利用の状況	アンケート調査について	【来訪手段】 マイカー：114 人 電車：1 人 自転車：2 人 【アクセスルート】 国道 8 号線：116 人 その他：1 人 【来訪目的（複数回答可）】 キャンプ：15 人 海水浴：86 人 ヒスイ拾い：45 人 風景：12 人 釣り：2 人 散歩・散策：10 人 ドライブ：7 人 食事・休憩：5 人 自然観察：3 人 写真撮影・写生：2 人 【既設道路拡幅範囲の利用状況】 利用する：0 人 利用しない：117 人
現地の状況 (ヒスイテラス)		
	施設正面	施設屋上
		
	ヒスイ展示スペース	カフェスペース

表 10.1.8-3(4) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況

(触れ合い01：ヒスイテラス、朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場、宮崎・境海岸（ヒスイ海岸）)

調査項目	調査結果	
現地の状況 (朝日ヒスイ 海岸オート キャンプ場)		
	管理棟	炊事棟
		
	バンガロー	ケビン
現地の状況 (宮崎・境海岸 (ヒスイ海 岸))		
	駐車場	トイレ
		
	ヒスイ海岸①	ヒスイ海岸②

表 10.1.8-4(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況（触れ合い 02：上の山園地）

調査項目	詳細な確認事項	調査結果
事業との関連	地点位置及びアクセスルート	・対象事業実施区域の北西側に位置にっており、最寄りの風力発電機から約 1.6km の離隔である。 ・本地点へのアクセスルートと工事関係車両の走行ルートが、一部重複する可能性がある。
利用環境の状況	施設等の概要	・面積が 6,000m² ある広い芝生広場があり、家族連れなどの遊び場となっている。 ・休憩所、トイレ、ベンチなどのほか、フィールドアスレチックも設置されている。
	利用時期	・通年
	駐車場の有無 駐車可能台数	・45 台
	催事状況	・ホームページやパンフレットから本地点を会場として開催されるイベントについての情報は得られなかった。
利用の状況	利用者特性	・現地調査時には、ドライブコースのスポットとして立ち寄る利用者やスポーツを楽しむ家族連れが見られた。
	調査時間・利用者数 （駐車台数）	・令和 7 年 4 月 27 日 ①9:40～10:05 0 人（1 台） ②13:00～13:25 5 人（2 台） ③14:50～15:20 8 人（2 台）
	アンケート調査について	【性別】 男性：10 人 女性：3 人 【年齢】 0～10 歳代：1 人 30 歳代：5 人 40 歳代：3 人 50 歳代：2 人 60 歳代：2 人 【お住まい】 入善町：6 人 黒部市：2 人 富山市：2 人 富山県外：3 人 【年間季節別利用頻度】 アンケート調査の結果、春季の利用者が多かった。 【来訪手段】 マイカー：12 人 徒歩：1 人 【アクセスルート】 国道 8 号線：13 人 【来訪目的（複数回答可）】 スポーツ：6 人 ドライブ：5 人 風景：2 人 自然観察：2 人 その他：5 人 【既設道路拡幅範囲の利用状況】 利用する：0 人 利用しない：13 人

表 10.1.8-4(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況（触れ合い02：上の山園地）

調査項目	調査結果	
現地の状況		
	駐車場	休憩所
		
	遊具	広場

表 10.1.8-5(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況（触れ合い 03：城山公園）

調査項目	詳細な確認事項	調査結果
事業との関連	地点位置及びアクセスルート	・対象事業実施区域の北西側に位置しており、最寄りの風力発電機から約 1.5km の離隔である。 ・本地点へのアクセスルートと工事関係車両の走行ルートが、一部重複する可能性がある。
利用環境の状況	施設等の概要	・朝日県立自然公園内の城山の山頂あり、宮崎城跡に位置している。 ・城跡からは、東に天嶮親不知、西には弧を描く富山湾の海岸線と黒部川扇状地一帯、さらには能登半島を望むことができる。 ・城山公園の桜は、とやま桜の名所 70 選にも選ばれている。
	利用時期	・通年
	駐車場の有無 駐車可能台数	・60 台
	催事状況	【城山桜まつり】 ・例年 4 月に開催され、山開き神事のほか、ステージイベントや模擬店の出店がある。
利用の状況	利用者特性	・現地調査時には、自然を楽しみながら散策する利用者や富山湾の風景を楽しむ利用者が見られた。
	調査時間・利用者数 （駐車台数）	・令和 7 年 4 月 27 日 ①10:10～10:35 3 人（2 台） ②13:30～13:55 2 人（1 台） ③15:30～16:00 4 人（2 台）
	アンケート調査について	【性別】 男性：3 人 女性：4 人 【年齢】 40 歳代：3 人 50 歳代：2 人 70 歳代以上：2 人 【お住まい】 朝日町：1 人 富山県外：6 人 【年間季節別利用頻度】 アンケート調査の結果、春季の利用者が多かった。 【来訪手段】 マイカー：7 人 【アクセスルート】 国道 8 号線：7 人 【来訪目的（複数回答可）】 ドライブ：2 人 風景：7 人 自然観察：2 人 【既設道路拡幅範囲の利用状況】 利用する：0 人 利用しない：7 人

表 10.1.8-5(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況（触れ合い 03：城山公園）

調査項目	調査結果	
現地の状況		
	駐車場	広場
		
	休憩所	宮崎城跡

表 10.1.8-6(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況（触れ合い04：七重滝）

調査項目	詳細な確認事項	調査結果
事業との関連	地点位置及びアクセスルート	・対象事業実施区域の南側に位置しており、最寄りの風力発電機から約2.1kmの離隔である。 ・本地点へのアクセスルートと工事関係車両の走行ルートが、一部重複する可能性がある。
利用環境の状況	施設等の概要	・黒菱山の断層によってできた斜面約60mを七段になって落下する滝である。 ・景勝地として訪れる利用者も多いほか、「富山の名水55選」に選定されたことから、ハイキングや自然観察コースとしても楽しまれている。 ・駐車場は、「中部北陸自然歩道 城山と七重滝をめぐるみち」の上横尾公民館駐車場を利用するケースが多い。
	利用時期	・通年
	駐車場の有無 駐車可能台数	・4台
	催事状況	・ホームページ等から本地点を会場として開催されるイベントについての情報は得られなかった。
利用の状況	利用者特性	・現地調査時には、自然散策やハイキングを楽しむ利用者が見られた。
	調査時間・利用者数 (駐車台数)	・令和7年4月27日 ①10:40～11:10 4人(3台) ②14:05～14:30 0人(2台) ③15:40～16:10 0人(0台)
	アンケート調査について	【性別】 男性：0人 女性：4人 【年齢】 30歳代：1人 50歳代：2人 70歳代以上：1人 【お住まい】 朝日町：1人 入善町：1人 富山市：1人 富山県外：1人 【年間季節別利用頻度】 アンケート調査の結果、春季の利用者が多かった。 【来訪手段】 マイカー：4人 【アクセスルート】 国道8号線：4人（駐車場から中部北陸自然歩道を利用して移動） 【来訪目的（複数回答可）】 写真撮影・写生：1人 自然観察：4人 散歩・散策：2人 登山：2人 【既設道路拡幅範囲の利用状況】 利用する：0人 利用しない：4人

表 10.1.8-6(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況（触れ合い04：七重滝）

調査項目	調査結果	
現地の状況		
	駐車場	七重滝入口付近
		
	七重滝に向かう林道	展望地点

表 10.1.8-7(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況
(触れ合い 05 : 三峯グリーンランド)

調査項目	詳細な確認事項	調査結果
事業との関連	地点位置及びアクセスルート	・対象事業実施区域の南西側に位置しており、最寄りの風力発電機から約 2.7km の離隔である。 ・本地点へのアクセスルートと工事関係車両の走行ルートが、一部重複する可能性がある。
利用環境の状況	施設等の概要	・広葉樹に囲まれた自然あふれる静かな「山間の野営場」である。 ・秋には、約 10 万本のコスモスが咲く。 ・とやま森林浴の森に指定されている。 ・施設、設備としては、テントサイト、トイレ、芝生広場、遊歩道、多目的広場などの施設や設備がある。
	利用時期	・5 月～11 月末
	駐車場の有無 駐車可能台数	・20 台
	催事状況	・三峯周辺を走るトレイルランや自転車オフロードイベントが開催されている。
利用の状況	利用者特性	・現地調査時には、ランニングを楽しむ利用者が見られた。
	調査時間・利用者数 (駐車台数)	・令和 7 年 7 月 27 日 ①8:00～9:00 0 人 (0) ②9:00～10:00 1 人 (0) ③10:00～11:00 0 人 (0) ④11:00～12:00 0 人 (0) ⑤12:00～13:00 0 人 (0) ⑥13:00～14:00 0 人 (0) ⑦14:00～15:00 0 人 (0)
	アンケート調査について	【性別】 男性：1 人 女性：0 人 【年齢】 30 歳代：1 人 【お住まい】 入善町：1 人 【年間季節別利用頻度】 アンケート調査の結果、春季から秋季にかけて利用されていた。 【来訪手段】 マイカー：1 人 【アクセスルート】 国道 8 号線：1 人 【来訪目的（複数回答可）】 スポーツ：1 人 【既設道路拡幅範囲の利用状況】 利用する：0 人 利用しない：1 人

表 10.1.8-7(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況
(触れ合い05：三峯グリーンランド)

調査項目	調査結果	
現地の状況		
	駐車場	案内板
		
	広場①	広場②

表 10.1.8-8 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況

(触れ合い 06：富山湾岸サイクリングコース)

調査項目	詳細な確認事項	調査結果
事業との関連	地点位置及びアクセスルート	・対象事業実施区域の北西側に位置しており、最寄りの風力発電機からコース内で最も近接する地点までの離隔は、約 1.1km である。 ・本地点へのアクセスルートと工事関係車両の走行ルートが、一部重複する可能性がある。
利用環境の状況	施設等の概要	・氷見から朝日までの延長 102 km に及ぶ富山湾岸沿いにサイクリングコースが整備されている。 ・あいの風とやま鉄道のサイクルトレインが運行している。
	利用時期	・通年
	駐車場の有無 駐車可能台数	・約 5 台
	催事状況	【富山サイクルフェスティバル】 ・2021 年 5 月にナショナルサイクルルートに指定された富山湾岸サイクリングコースを走行し、射水市をスタート・ゴールとした 4 つのコースが設定されている。
利用の状況	利用者特性	・現地調査時には、サイクリングを楽しむ利用者が見られた。
	調査時間・利用者数 (駐車台数)	・令和 7 年 4 月 27 日 ①10:40～11:00 0 人 ②14:00～14:30 1 人 ③15:50～16:20 0 人
	アンケート調査について	・現地調査時は、本調査地点の利用者からアンケートの回答を得ることができなかった。
現地の状況		
	海岸沿いルート	
		
	道路沿いルート	
		
	案内板	
		
	スタート／ゴール地点	

表 10.1.8-9 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況

(触れ合い07：田園サイクリングコース)

調査項目	詳細な確認事項	調査結果
事業との関連	地点位置及びアクセスルート	・対象事業実施区域の西側に位置しており、最寄りの風力発電機からコース内で最も近接する地点までの離隔は、約 3.8km である。 ・本地点へのアクセスルートと工事関係車両の走行ルートが、一部重複する可能性がある。
利用環境の状況	施設等の概要	・富山県の歴史と文化を感じながら田園風景の中を駆け抜けるコースである。 ・立山連峰のパノラマ風景や、起伏に富んだコース上から見下ろす富山平野の眺望を楽しむことができる。
	利用時期	・通年
	駐車場の有無 駐車可能台数	・駐車場なし
	催事状況	・ホームページ等から本地点を会場として開催されるイベントについての情報は得られなかった。
利用の状況	利用者特性	・現地調査時には、本調査地点の利用者が見られなかった。
	調査時間・利用者数 (駐車台数)	・令和7年4月27日 ①9:40～9:55 0人(駐車場なし) ②13:00～13:20 0人(駐車場なし) ③14:50～15:15 0人(駐車場なし)
	アンケート調査について	・現地調査時は、本調査地点の利用者が見られず、アンケートの回答を得ることができなかった。
現地の状況		
	道路沿いルート①	道路沿いルート②

表 10.1.8-10(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況
(触れ合い 08：烏帽子山林道展望台)

調査項目	詳細な確認事項	調査結果
事業との関連	地点位置及びアクセスルート	・対象事業実施区域の東側に位置しており、最寄りの風力発電機から約 2.5km の離隔である。 ・本地点へのアクセスルートと工事関係車両の走行ルートが、一部重複する可能性がある。
利用環境の状況	施設等の概要	・標高は約 500m で烏帽子山林道沿いに位置し、日本海や能登半島を一望できるほか、バードウォッチングを楽しむことができる。また、大鷲山登山コースの途中にあり、休憩地点としても利用されている。
	利用時期	・通年
	駐車場の有無 駐車可能台数	・5 台
	催事状況	・ホームページやパンフレットから本地点を会場として開催されるイベントについての情報は得られなかった。
利用の状況	利用者特性 利用者数	・現地調査時には、登山を楽しむ利用者が見られた。
	調査時間・利用者数 (駐車台数)	・令和 7 年 6 月 7 日 ①8:00～9:00 2 人 (1) ②9:00～10:00 6 人 (4) ③10:00～11:00 2 人 (5) ④11:00～12:00 0 人 (3) ⑤12:00～13:00 0 人 (1) ⑥13:00～14:00 0 人 (1) ⑦14:00～15:00 0 人 (0)
	アンケート調査について	【性別】 男性：6 人 女性：1 人 【年齢】 40 歳代：1 人 50 歳代：2 人 60 歳代：4 人 【お住まい】 朝日町：1 人 黒部市：1 人 魚津市：2 人 富山市：2 人 富山県外：1 人 【年間季節別利用頻度】 アンケート調査の結果、春季の利用者が多かった。 【来訪手段】 マイカー：3 人 バイク：1 人 徒歩：3 人 【アクセスルート】 国道 8 号線：7 人 【来訪目的（複数回答可）】 登山：7 人 【既設道路拡幅範囲の利用状況】 利用する：4 人（笹川地区） 利用しない：3 人

表 10.1.8-10(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況
(触れ合い08：烏帽子山林道展望台)

調査項目	調査結果	
現地の状況		
	駐車場	展望地点
		
	記念石碑	展望盤

2) 予測及び評価の結果

① 工事の実施

a. 工事用資材の搬出入

(a) 環境保全措置

工事用資材等の搬出入に伴う人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減するための環境保全措置は以下のとおりである。

- ・ 工事関係者の通勤車両については、乗り合いに努め、工事関係車両台数を低減する。
- ・ 工事工程の調整により工事関係車両台数を平準化し、建設工事の最盛期の台数を低減する。
- ・ 急発進、急加速の禁止及びアイドリングストップ等エコドライブの実施を推奨し、工事関係者への周知を図る。
- ・ 工事関係車両の主要な走行ルート of 周囲の主要な人と自然との触れ合いの活動の場において、工事中にアクセスが集中する可能性のあるイベントが開催される場合には、開催日の工事関係車両の走行を可能な限り控える等、配慮する。
- ・ 環境保全措置の内容について、工事関係者に周知徹底する。

(b) 予測

ア. 予測地域

調査地域と同じ地域とした。

イ. 予測地点

現地調査を実施した地点のうち、アクセスルート等の調査結果を踏まえて、工事関係車両の走行経路上に位置する「触れ合い 01：ヒスイテラス、朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場、宮崎・境海岸（ヒスイ海岸）」、「触れ合い 02：上の山園地」、「触れ合い 03：城山公園」、「触れ合い 04：七重滝」、「触れ合い 05：三峯グリーンランド」、「触れ合い 06：富山湾岸サイクリングコース」、「触れ合い 07：田園サイクリングコース」、「触れ合い 08：烏帽子山林道展望台」の 8 地点とした。

ウ. 予測対象時期

工事関係車両の交通量が最大となる時期とした。

エ. 予測方法

工事関係車両の運行に伴う主要な人と自然との触れ合いの活動の場へのアクセスルートにおける交通量の変化の程度を踏まえ、影響を予測した。

オ. 予測結果

予測の結果は、表 10.1.8-11 に示すとおりである。

工事期間中の工事関係車両の発生台数は、風力発電機基礎工事に伴うコンクリート打設時において、工事関係車両が最大で 370 台/日（大型車：306 台/日、小型車：64 台/日）程度が往復する。なお、工事関係車両の走行時間帯は、午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 分を想定している。

表 10.1.8-11(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響の予測結果
(工事中資材の搬出入)

調査地点	名称	予測結果
触れ合い 01	ヒスイテラス、朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場、宮崎・境海岸（ヒスイ海岸）	本調査地点は、工事関係車両の主要な走行ルートとして使用される一般国道 8 号から主要地方道 60 号（入善朝日線）及び一般県道 374 号（境宮崎線）を経由したところに位置していることから、アクセスルートと工事関係車両の主要な走行ルートが一部重複する。工事期間中の本地点周辺の交通量の増加率は、表 10.1.8-11(2)に示すとおり、一般国道 8 号は約 12～14%、一般県道 103 号（田中横尾線）は 0%になると予測する。
触れ合い 02	上の山園地	本調査地点は、工事関係車両の主要な走行ルートとして使用される一般国道 8 号から脇道に入ったところに位置していることから、アクセスルートと工事関係車両の主要な走行ルートが一部重複する。工事期間中の本地点周辺の交通量の増加率は、表 10.1.8-11(2)に示すとおり、一般国道 8 号は約 12～14%、一般県道 103 号（田中横尾線）は 0%になると予測する。
触れ合い 03	城山公園	本調査地点は、工事関係車両の主要な走行ルートとして使用される一般国道 8 号から脇道に入ったところに位置していることから、アクセスルートと工事関係車両の主要な走行ルートが一部重複する。工事期間中の本地点周辺の交通量の増加率は、表 10.1.8-11(2)に示すとおり、一般国道 8 号は約 12～14%、一般県道 103 号（田中横尾線）は 0%になると予測する。
触れ合い 04	七重滝	本調査地点は、工事関係車両の主要な走行ルートとして使用される一般国道 8 号から一般県道 103 号（田中横尾線）に入ったところに位置していることから、アクセスルートと工事関係車両の主要な走行ルートが一部重複する。工事期間中の本地点周辺の交通量の増加率は、表 10.1.8-11(2)に示すとおり、一般国道 8 号は約 12～14%、一般県道 103 号（田中横尾線）は 0%になると予測する。
触れ合い 05	三峯グリーンランド	本調査地点は、工事関係車両の主要な走行ルートとして使用される一般国道 8 号から一般県道 103 号（田中横尾線）及び林道を経由したところに位置していることから、アクセスルートと工事関係車両の主要な走行ルートが一部重複する。工事期間中の本地点周辺の交通量の増加率は、表 10.1.8-11(2)に示すとおり、一般国道 8 号は約 12～14%、一般県道 103 号（田中横尾線）は 0%になると予測する。
触れ合い 06	富山湾岸サイクリングコース	本調査地点は、工事関係車両の主要な走行ルートとして使用される一般国道 8 号から主要地方道 60 号（入善朝日線）及び一般県道 374 号（境宮崎線）を経由したところに位置していることから、アクセスルートと工事関係車両の主要な走行ルートが一部重複する。工事期間中の本地点周辺の交通量の増加率は、表 10.1.8-11(2)に示すとおり、一般国道 8 号は約 12～14%、一般県道 103 号（田中横尾線）は 0%になると予測する。
触れ合い 07	田園サイクリングコース	本調査地点は、工事関係車両の主要な走行ルートとして使用される一般国道 8 号沿いに位置していることから、アクセスルートと工事関係車両の主要な走行ルートが一部重複する。工事期間中の本地点周辺の交通量の増加率は、表 10.1.8-11(2)に示すとおり、一般国道 8 号は約 12～14%、一般県道 103 号（田中横尾線）は 0%になると予測する。
触れ合い 08	烏帽子山林道展望台	本調査地点は、工事関係車両の主要な走行ルートとして使用される一般国道 8 号から一般県道 103 号（田中横尾線）若しくは林道を経由したところに位置していることから、アクセスルートと工事関係車両の主要な走行ルートが一部重複する。工事期間中の本地点周辺の交通量の増加率は、表 10.1.8-11(2)に示すとおり、一般国道 8 号は約 12～14%、一般県道 103 号（田中横尾線）は 0%になると予測する。なお、本地点へは、対象事業実施区域東側の大平地区や登山道を利用したアクセスが可能である。

注：1. 表中の調査地点番号は、図 10.1.8-1 に準ずる。

表 10.1.8-11(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響の予測結果
(工事用資材の搬出入)

路線	現地調査地点	時間の区分	現況交通量 (①)	工事関係車両台数 (②)	将来交通量 (③=①+②)	増加率 (②/①×100)
一般国道 8 号線	沿道 01	昼間	2,559 台	370 台	2,929 台	約 14%
	沿道 03	昼間	3,104 台		3,474 台	約 12%
一般県道 103 号 (田中横尾線)	沿道 02	昼間	621 台	0 台	621 台	0%

注：1. 現況交通量については、「10.1.1 大気環境 (1) 騒音」の現地調査結果を用いた。

2. 現況交通量の集計時間は、工事関係車両の運行時間帯である 8～17 時としているため、「10.1.1 大気環境 (1) 騒音」の集計時間とは一致しない。

(c) 評価の結果

7. 環境影響の回避・低減に関する評価

工事用資材等の搬出入に伴う人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減するための環境保全措置は以下のとおりである。

- ・工事関係者の通勤車両については、乗り合いに努め、工事関係車両台数を低減する。
- ・工事工程の調整により工事関係車両台数を平準化し、建設工事の最盛期の台数を低減する。
- ・急発進、急加速の禁止及びアイドリングストップ等エコドライブの実施を推奨し、工事関係者への周知を図る。
- ・工事関係車両の主要な走行ルート周辺の主要な人と自然との触れ合いの活動の場において、工事中にアクセスが集中する可能性のあるイベントが開催される場合には、開催日の工事関係車両の走行を可能な限り控える等、配慮する。
- ・環境保全措置の内容について、工事関係者に周知徹底する。

工事中は交通量の増加によって主要な人と自然との触れ合いの活動の場へのアクセスに関して、交通量の増加による一時的な影響が生じるものの、上記の環境保全措置を講じることにより、工事用資材等の搬出入に伴う主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響は、実行可能な範囲内で低減が図られているものと評価する。

② 土地又は工作物の存在及び供用

a. 地形改変及び施設の存在

(a) 環境保全措置

地形改変及び施設の存在に伴う人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減するための環境保全措置は以下のとおりである。

- ・ 風力発電機は、景観との調和を図るため、明度・彩度を抑えた塗装とする。
- ・ 既設道路等を活用することで、樹木の伐採を最小限とし、造成により生じた切盛法面は、地盤の状況に応じた適切な緑化を行い、植生の早期回復を図る。
- ・ 変電設備と風力発電機を接続する送電線については、可能な限り地中埋設とする。

(b) 予測

ア. 予測地域

調査地域と同じ地域とした。

イ. 予測地点

現地調査を実施した地点のうち、図 10.1.8-2 に示す風力発電機（最大高さ 180m）の可視領域の範囲を踏まえ、地形改変及び施設の存在の影響が生じる可能性のある「触れ合い 01：ヒスイテラス、朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場、宮崎・境海岸（ヒスイ海岸）」、「触れ合い 02：上の山園地」、「触れ合い 03：城山公園」、「触れ合い 04：七重滝」、「触れ合い 05：三峯グリーンランド」、「触れ合い 06：富山湾岸サイクリングコース」、「触れ合い 07：田園サイクリングコース」、「触れ合い 08：烏帽子山林道展望台」の 8 地点とした。

ウ. 予測対象時期

風力発電施設等が完成し、施設の稼働が定常となる時期とした。

エ. 予測方法

地形改変及び施設の存在に伴う主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度を予測し、活動特性の変化を予測した。

オ. 予測結果

予測の結果は、表 10.1.8-12 に示すとおりである。

なお、風力発電機の見え方の基準については、表 10.1.8-13 に示す、垂直見込角の大きさに応じた風力発電機の見え方について整理した知見（「平成 28 年度～平成 29 年度成果報告書 風力発電等導入支援事業／環境アセスメント調査早期実施実証事業／環境アセスメント迅速化研究開発事業 既設風力発電施設等における環境影響実態把握Ⅰ」（新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、平成 30 年 2 月）（報告書管理番号：20180000000673））及び表 10.1.8-14 に示す、垂直見込角の大きさに応じた鉄塔の見え方について整理した知見（「景観対策ガイドライン（案）」（UHV 送電特別委員会環境部会立地分科会、昭和 56 年））を参考とした。

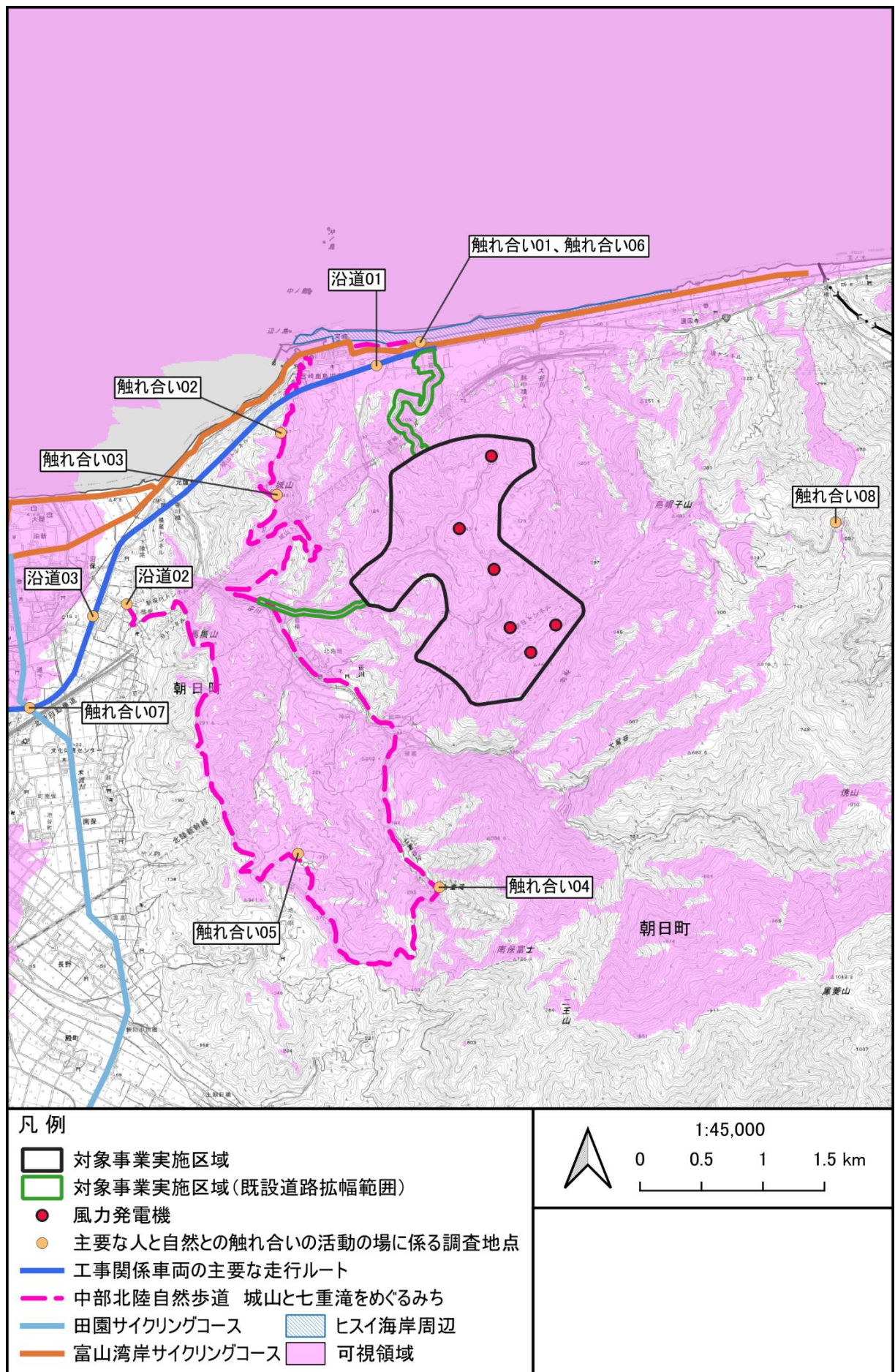


図 10.1.8-2 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査地点と可視領域の範囲

表 10.1.8-12(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響の予測結果
(地形改変及び施設の存在)

調査地点	名称	予測結果
触れ合い 01	ヒスイテラス、朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場、宮崎・境海岸（ヒスイ海岸）	本地点は対象事業実施区域外であり、直接的な改変はない。 また、調査地点から最寄りの風力発電機までは約 1.1km 離れており、垂直見込角が最大で約 7.7 度になることから、「風車の見え方の知見」においては、「風車に対し圧迫感を覚え始める」とされる 8 度以下であり、「送電鉄塔の見え方の知見」においては「めいっばいに大きくなり、圧迫感を受けるようになる。平坦なところでは垂直方向の景観要素としては際立った存在になり周辺の景観とは調和しえない。」とされる垂直見込角 10～12 度以下であり、「風力発電機は、景観との調和を図るため、明度・彩度を抑えた塗装とする」との環境保全措置を講じることから、現況の利用は阻害されないと予測する。なお、主な視対象はヒスイ海岸方向（宮崎・境海岸）であり、主要な眺望方向と対象事業実施区域方向は逆方向となる。
触れ合い 02	上の山園地	本地点は対象事業実施区域外であり、直接的な改変はない。 また、調査地点から最寄りの風力発電機までは約 1.6km 離れており、垂直見込角が最大で約 5.7 度になることから、「風車の見え方の知見」においては、「風車に対し圧迫感を覚え始める」とされる 8 度以下であり、「送電鉄塔の見え方の知見」においては「やや大きく見え、景観的にも大きな影響がある。架線もよく見えるようになる。圧迫感あまり受けない。」とされる垂直見込角 5～6 度であり、「風力発電機は、景観との調和を図るため、明度・彩度を抑えた塗装とする」との環境保全措置を講じることから、現況の利用は阻害されないと予測する。
触れ合い 03	城山公園	本地点は対象事業実施区域外であり、直接的な改変はない。 また、調査地点から最寄りの風力発電機までは約 1.5km 離れており、垂直見込角が最大で約 6.1 度になることから、「風車の見え方の知見」においては、「風車に対し圧迫感を覚え始める」とされる 8 度以下であり、「送電鉄塔の見え方の知見」においては「めいっばいに大きくなり、圧迫感を受けるようになる。平坦なところでは垂直方向の景観要素としては際立った存在になり周辺の景観とは調和しえない。」とされる垂直見込角 10～12 度以下であり、「風力発電機は、景観との調和を図るため、明度・彩度を抑えた塗装とする」との環境保全措置を講じることから、現況の利用は阻害されないと予測する。
触れ合い 04	七重滝	本地点は対象事業実施区域外であり、直接的な改変はない。 また、調査地点から最寄りの風力発電機までは約 2.1km 離れており、風力発電機は地形により遮蔽され、視認できないことから、現況の利用は阻害されないと予測する。
触れ合い 05	三峯グリーンランド	本地点は対象事業実施区域外であり、直接的な改変はない。 また、調査地点から最寄りの風力発電機までは約 2.7km 離れており、垂直見込角が最大で約 3.4 度になることから、「風車の見え方の知見」においては、「負の意味で風車を気にするようになる」とされる 4 度以下であり、「送電鉄塔の見え方の知見」においては「やや大きく見え、景観的にも大きな影響がある。架線もよく見えるようになる。圧迫感あまり受けない。」とされる垂直見込角 5～6 度以下であり、「風力発電機は、景観との調和を図るため、明度・彩度を抑えた塗装とする」との環境保全措置を講じることから、現況の利用は阻害されないと予測する。

注：1. 表中の調査地点番号は、図 10.1.8-2 に準ずる。

2. 垂直見込角は、風力発電機の設置位置における標高差及び直線距離を考慮して算出した。

表 10.1.8-12(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響の予測結果
(地形改変及び施設の存在)

調査地点	名称	予測結果
触れ合い 06	富山湾岸サイクリングコース	本地点は対象事業実施区域外であり、直接的な改変はない。 また、調査地点から最寄りの風力発電機までは約 1.1km 離れており、垂直見込角が最大で約 7.7 度になることから、「風車の見え方の知見」においては、「風車に対し圧迫感を覚え始める」とされる 8 度以下であり、「送電鉄塔の見え方の知見」においては「めいっばいに大きくなり、圧迫感を受けるようになる。平坦なところでは垂直方向の景観要素としては際立った存在になり周辺の景観とは調和しえない。」とされる垂直見込角 10～12 度以下であり、「風力発電機は、景観との調和を図るため、明度・彩度を抑えた塗装とする」との環境保全措置を講じることから、現況の利用は阻害されないと予測する。
触れ合い 07	田園サイクリングコース	本地点は対象事業実施区域外であり、直接的な改変はない。 また、調査地点から最寄りの風力発電機までは約 3.8km 離れており、風力発電機は地形により遮蔽され、視認できないことから、現況の利用は阻害されないと予測する。
触れ合い 08	烏帽子山林道展望台	本地点は対象事業実施区域外であり、直接的な改変はない。 また、調査地点から最寄りの風力発電機までは約 2.4km 離れており、風力発電機は地形により遮蔽され、視認できないことから、現況の利用は阻害されないと予測する。

注：1. 表中の調査地点番号は、図 10.1.8-2 に準ずる。

2. 垂直見込角は、風力発電機の設置位置における標高差及び直線距離を考慮して算出した。

表 10.1.8-13 風力発電機の見え方に関する知見

垂直視野角 (単機の最大値) (度)	計測結果 (調査地点数)	風車景観に対する反応
0～0.5	6	← 約 1.5 度までは、(風車は見えるが) 気にならない
0.5～1.0	33	
1.0～1.5	33	
1.5～2.0	17	
2.0～3.0	34	
3.0～4.0	17	← 負の意味で風車を気にするようになる
4.0～5.0	15	
5.0～6.0	5	
6.0～8.0	8	← 風車に対し圧迫感を覚え始める
8.0～10.0	4	
10.0～12.0	4	
12.0～20.0	12	
20.0～	3	
計	191	

出典：「平成 28 年度～平成 29 年度成果報告書 風力発電等導入支援事業／環境アセスメント調査早期実施実証事業／環境アセスメント迅速化研究開発事業 既設風力発電施設等における環境影響実態把握Ⅰ」（新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、平成 30 年 2 月）(報告書管理番号：20180000000673)

表 10.1.8-14 垂直見込角と鉄塔の見え方に関する知見

垂直見込角	鉄塔の見え方
0.5°	輪郭がやっとわかる。季節と時間（夏の午後）の条件は悪く、ガスのせいもある。
1°	十分に見えるけれど、景観的にはほとんど気にならない。ガスがかかって見えにくい。
1.5～2°	シルエットになっている場合には良く見え、場合によっては景観的に気になり出す。シルエットにならず、さらに環境融和塗色がされている場合には、ほとんど気にならない。光線の加減によっては見えないこともある。
3°	比較的細部まで見えるようになり、気になる。圧迫感を受けない。
5～6°	やや大きく見え、景観的にも大きな影響がある（構図を乱す）。架線もよく見えるようになる。圧迫感はあまり受けない（上限か）。
10～12°	めいっばいに大きくなり、圧迫感を受けるようになる。平坦なところでは垂直方向の景観要素としては際立った存在になり周辺の景観とは調和しえない。
20°	見上げるような仰角にあり、圧迫感も強くなる。

出典：「景観対策ガイドライン（案）」（UHV 送電特別委員会環境部会立地分科会、昭和 56 年）

(c) 評価の結果

地形改変及び施設の存在に伴う人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減するための環境保全措置は以下のとおりである。

- ・ 風力発電機は、景観との調和を図るため、明度・彩度を抑えた塗装とする。
- ・ 既設道路等を活用することで、樹木の伐採を最小限とし、造成により生じた切盛法面は、地盤の状況に応じた適切な緑化を行い、植生の早期回復を図る。
- ・ 変電設備と風力発電機を接続する送電線については、可能な限り地中埋設とする。

上記の環境保全措置を講じることにより、地形改変及び施設の存在に伴う主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響は、実行可能な範囲内で影響に低減が図られているものと評価する。